



二中だより

# 明 強 正

創立70周年記念 No.16

平成30年12月21日(金)

発行 八戸市立第二中学校

電話 22-2297

## めまぐるしく充実の2学期が無事終了

# 保護者の皆様、地域の皆様に感謝

校長 大塚弘昭

本日をもって2学期が終了しました。熱中症に気をつけながら行われた体育祭に始まり、秋季大会、合唱祭、文化祭、そして創立70周年記念式典とめまぐるしい2学期でした。お陰様で各行事は昨年以上の盛り上がりを見せ、創立70周年記念式典では中学生の底力を示すことができ、お褒めの言葉をたくさんいただきました。さらには、万引き等の事件や非行も皆無で、予想以上の成果が上がった充実した学期でした。生徒たちは、それぞれに成長を実感できたのではないかと思います。これもひとえに保護者の皆様、地域の皆様の御理解、御協力の賜と心から感謝しています。来年が皆様にとって良い年でありませうようお祈りいたします。来年もどうぞよろしく願いいたします。

## 第2回地域学校連携協議会開催

12月7日(金)、今年度2回目となる地域学校連携協議会が、本校会議室で開かれました。今年度の生徒の様子、これまでの取組内容、学校評価アンケート結果の説明を基にした、学校関係者評価を主な内容として御審議いただきました。自由記述による保護者の意見を受けて、委員の方々からは「三社大祭のゴミ拾い活動は続けてほしい」「教師の負担軽減のためにコーチを」「部活動の際の顧問の言葉遣いは保護者の誤解のないように」「間違ったときは子どもに謝れる教師になってほしい」等の御意見をいただきました。全体としては、学校の取組についてはおおむね良としていただきました。

また、現在県教委や市教委で策定を進めている「運動部活動の指針」の背景等(裏面参照)について説明いたしました。この指針は3月中には公表される予定で、来年度から指針に沿った部活動が行われることとなります。全体としては、生徒の発達の段階を考慮し、活動時間等で負担を軽減する内容が示されることになりそうです。

### —1・2月の行事予定—

- 12(土) アンサンブル県大会
- 15(火) 3学期始業式
- 22(火) 全校朝会
- 24(木) 全中アイスホッケー大会
- 25(金) スペリングコンテスト
- 28(月) J S あいさつ運動~2/1
- 31(火) 専門委員会
- 1(金) 新入生保護者説明会  
3年テスト週間~8
- 5(火) 全校朝会
- 7(木) 新入生ガイダンス
- 8(金) 3年5次考査
- 13(水) 私立高校入試日
- 15(金) 1,2年参観日
- 20(水) 私立高校合格発表
- 21(木) 1,2年テスト週間~28
- 22(金) 第3回地域学校連携協議会
- 28(木) 専門委員会  
1,2年5次考査

# 部活動が変わる？

## ～スポーツ庁ガイドラインを受けて～

中学校期は親しい友人や仲間を積極的に求め、種々の活動をともに行うなかで協力して取り組む楽しさを体験する時期です。その時期にあって、部活動は、スポーツや文化活動に興味・関心をもつ同好の生徒が集まり、より高い技術や記録に挑戦する中で、それぞれの楽しさや喜びを味わい、豊かな学校生活を経験できる意義深い教育活動です。

しかし、社会変化の大きな波は部活動にも押し寄せてきています。まず、生徒数の減少に伴い、「団体競技において単独校でチームを編成できない」「部活動の種目数を減らさざるを得ない」等、生徒のニーズに応じた活動が難しくなりつつあります。顧問は必ずしもその種目に精通しているわけではなく、しかも教員配置数の減少により、一つの部活動に複数の顧問を配置することが困難になってきていることも課題の一つです。最近では、外部指導者に指導してもらう機会も増えましたが、外部指導者が保護者の場合は、生徒の卒業とともに指導者を退くことが多く、継続して指導できる人材の確保が困難です。さらに、勝利至上主義による行き過ぎた指導の問題、生徒の健康・安全面への配慮、教員の長時間労働の解消等、部活動が抱える課題についての検討が必要という声が高まってきました。

そのような中、今年3月、スポーツ庁より「運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」が示されました。

- (1) 各自治体や学校で、運動部活動の活動時間や休養日等についての方針を定める。
- (2) スポーツ医・科学の見地を踏まえ、生徒の心身の健康管理、事故防止、体罰・ハラスメントの根絶を徹底する。
- (3) 適切な活動時間や休養日等を設定する。
- (4) 地域とも連携し、生徒のニーズを踏まえたスポーツ環境を整備する。
- (5) 生徒・顧問の過度の負担にならないよう、参加する大会数の見直しを行う。

このガイドラインを受け、現在、青森県、八戸市はそれぞれに「運動部活動の指針」の策定に取り組んでいます。学校もまた、今まで「当たり前」だったこと一つ一つについて、その必要性や妥当性、効果や弊害を検討していくことが求められています。保護者・地域の皆様や、各競技団体のご協力をいただきながら、生徒が生き生きと取り組める環境づくりに努めていきたいと思っております。

「すべては子どもの笑顔のために」。部活動を通して子どもたちがより良く成長できるよう、ご協力をお願いします。

## 図書購入費の寄贈に感謝

この度、八戸酒造株式会社様と株式会社山村総本店様より、図書購入費を寄贈いただきました。両社とも社長さんが本校の卒業生ということで、70周年に合わせた寄贈となりました。心より感謝申し上げます。寄贈いただいた購入費を活用して図書室用図書の充実に努め、読書に親しむ生徒が増えるよう取り組んで参ります。

